

(3) 学校造園教育研究会

会 長 小野川 憲 (中村西中)
副会長 濱田 千穂 (竹島小)
事務局 島田 敏和 (西土佐小)

1. 研究主題 「よりよい学校環境を目指して」

2. 研究過程

実施年月日	研究のあらまし	会 場	備 考
R7. 8. 1 (金)	○夏季研修会 「庭木の剪定方法について」(説明・実技) ※講師：池田造園 池田 道一さん	中村南小学校	10名参加

3. 今年度の取り組み

○夏季研修会 8月1日(金) 中村南小学校

本年度は中村南小学校を会場に、この十数年来お世話になっている池田造園の池田 道一さんを講師にお招きし、庭木の剪定方法について指導を受けながら実習を行った。

研修は、中村南小学校の正面玄関付近の築山等を実習場所にして、つつじやソテツ等の剪定方法の説明をひとつずつ受けながら、実際に剪定ばさみ等を使って1つひとつの庭木の形を整えていった。

基本的な剪定方法としては、「時々1回離れて遠くから形を見ながら整えていくと良い。」「切り込む際は、葉と枝のぎりぎりまで切ると良い。」「剪定した後は、必ず剪定した葉や枝を落としておくこと。そのままにしておくと茶色くなり、その後害虫が付きやすくなってしまう。」「思い切って切ってもよいが、強剪定は3月・4月頃が良い。そうすることで、その年は花は咲かなくても、木が元気になる。」等を教わりながらの実習となった。本年度も8月初旬の暑さの中、参加者はみんな汗をかきながらの研修であったが、きれいに整えられた中村南小学校の築山を見て大満足の研修となった。

その他にも下記のようなお話があったので、簡条書きしておく。

- ・暑い時期の剪定はあまり好ましくない。剪定後に新芽が出た際、焼けて茶色になってしまう。
- ・大きな木の枝などを安全に切るためには、一気に切ろうとせず30cmくらいずつ切っていくと良い。そうすることで木も割れたりすることがない。
- ・剪定後の掃除が大切。



4. 今年度の成果(○)と課題(●)

○本年度は会員数も12名に増え、作業当日も例年より多くの人数で作業ができたため、例年以上に広範囲の作業を行うことができた。

○作業の前に、講師の池田さんから、剪定ばさみの使い方やつつじの形の整え方を実演しながらレクチャーしてもらったので、スムーズに作業に取りかかることができた。

●剪定後の草木を廃棄する場所が遠距離の場合は、猫車等では間に合わないため軽トラックの準備が必要。今年度は池田造園さんのトラックを使わせていただいた。(来年度は実習場所を決定する際に、必要に応じて軽トラックの手配もしておくとうい。))